

平成26年1月16日～22日

# フィリピン レイテ訪問報告書



認定NPO法人 WITH事務局  
〒504-0913 岐阜県各務原市那加大東町61番地の2  
TEL.058-382-3688  
FAX.058-389-1201

<http://www.with-pj.org>  
E-mail/[info@with-pj.org](mailto:info@with-pj.org)

「WITH」は、  
アジア諸国において植樹活動、  
物資支援を行う  
特定非営利活動法人です。



私たち「WITH」は2007年4月の設立以来、昨年までに植樹活動・物資支援のため7年に渡り10回フィリピンを訪問しました。昨年、11月フィリピンレイテ島に台風が直撃し、甚大な被害がでました。WITHではその1か月前にレイテ島で活動したばかりのことでした。台風直後、レイテ島現地スタッフと連絡をとりながら情報収集してきましたが、1月16日ようやく現地へ赴くことができました。今回の災害に対して多くの方々からご支援をいただきました。WITHでは今後もレイテ島で支援活動を行っていきます。皆様のご支援・ご協力よろしくお願い申し上げます

代表 橋本 佳幸

## 先発 川本編

平成26年1月16日

スタッフの川本が先行してフィリピンへ渡航。レイテ島での支援物資を準備します。

1月17日 セブ島

現地では大量の物資を購入することができないため、セブ島ダウンタウンのメトロモールの業務用食品店にてコーンビーフ650個、milo650個、ミートローフ330個、粉牛乳1000本を買う。

レイテ島では調達が困難なため、隣のセブ島にて物資を調達し、船でレイテに運びます。

16:00

19時発のマアシン行きのコカリオンという船に荷物を積み込む。

しかし、低気圧の影響で出航が23時に変更。

1月18日 6:00

結局、出航延期。18日の10時になったため別の船を探す。

別の港でオルモック行22:00発の便を見つける。荷物の書類申請をする。

13:00

コカリオンから積荷を出し、オルモック行の船に積み込みする。

23:00

少し遅れたが無事出航。

1月19日 7:00

オルモック到着。積荷を出す。パンでバイバイシティを目指す。

11:00

バイバイシティ到着。橋本と合流。



レイテ島まではマニラ空港から飛行機で約1時間程



セブで買い出し



船に荷積み



出そうで出ないコカリオン号



オルモックで荷だし

# 後発 橋本編

平成26年1月18日

マニラ着。フライト変更の為、タクロバン行の飛行機に乗れず。翌日便へ。

1月19日 7:00

マニラ発タクロバン行のフィリピンエアラインに乗る。

8:00

タクロバン着。衝撃！3か月前に滞在した街が無い！涙が止まりません。

8:30

川本の船が遅れた為、空港で合流できず。

空港のタクシーをレンタルし、橋本1人でバトゥーへ出発。

11:00

バイバイシティ到着。川本と合流。

12:00

バトゥのスタッフ自宅到着。

バトゥにて支援物資用のお米を1t購入。

13:00

マトロンの植樹サイトを視察。思ったより苗が流されず育っているのを見て一安心。



タクロバン空港。窓ガラスをすべて失っている



空港内。天井はすべて抜け落ち、屋根もところどころつぎはぎ。



空港外、景色もだいぶ変わりました



まだまだ街中は片付いていません



相変わらず潮の勢いは強い



それでもこんなに残ってます



岸側の苗は特に強く根付いています



台風にも負けない苗。将来が楽しみ



大きな苗はここまで成長しました



次の植樹候補地も視察



砂地だが潮が強く、

15:00

スタッフ宅に戻り、お米とセブ島で買付けた食料を1家族分毎に分ける。

19:00

320家族分の物資を作る。トラックに積みこむ。

今日はバトゥのホテルに宿泊。いよいよ明日は物資を持って村に配ります。



出来上がった支援物資



トラックに積みこむ



一家族分、Miloや缶詰、お米など



支援物資を1家族分ずつ作ります

1月20日 9:00

支援物資を載せバトゥ出発！

13:00

タクロバン近くのタナアン到着。2箇所です物資を配布します。

<1箇所目、Cabarasan Gutliにて>



バトゥ出発、台風爪痕がところどころ



タナアン到着、物資を下ろす



16:30 配給終了。バトゥに戻ります。  
明日はタクロバン周辺を視察します。

< 2箇所目、Cabarasan Dakuにて >



1月21日 9:00

バトゥ出発

13:00

いつも宿泊するホテルアンジェラへ。こちらも被害を受けています。

次回訪問時、泊まれるのだろうか？

バトゥへ出発。明日もマニラへ戻ります。

1月22日 5:00

タクロバンへ出発。マニラへ向かい日本へ帰ります。



小学校に訪問。屋根がなくなっている



崩壊した教室内



仮設テントで授業受けるこどもたち



こちらにも仮設テントの学び舎



日本が建てた校舎も被害が、



校舎内。屋根は落ちている



ホテルアンジェラ



ホテルの部屋の中



ホテル傍にて。壊れた車がそのまま



街中の瓦礫は多くがそのまま



大きな鉄筋コンクリートの建物でも倒壊している



教会外の臨時墓地。埋葬する場所がない



道路真ん中のロータリーにも墓地が



外国人がお墓で撮影



UNHCRも活動



UNHCRのキャンプ地



町中で活動する清掃員。行政も動いています



しかし復興はまだまだ進んでいない



ショッピングモール・ロビンソンも被害



荒れたタクロバンの街中



ゴミや資材などの片付けも進んでいない



なぎ倒された木



柱と壁だけ残った住居



建築現場。復興の兆しも見えます



空港到着



マニラへ



今回のバトゥ訪問時、小学校の建設を検討している場所がありましたので視察してまいりました。どちらも建設には150万～200万ペソ程かかるとのことでした。現地では台風の影響もあり十分に教育を受けることができない子どもたちが多くいますが、復興は思うように進んでいません。



### 候補地1



←バトゥの小学校の敷地内にて。保育園と小学校が一緒になっていた建物があった。建物は4-8歳くらいの子を対象にしていた教室ですが、一年前に火事になって半焼、今回の台風で倒壊、瓦礫が撤去されました。公営の施設なので通常、国からお金が出るそうですが現状、台風の被害の大きいところを優先しているので何年も待たなくては行けないとのこと。面積は6.0m × 12.0mほど。



### 候補地2

→バトゥのホテル近くにあったバスケットボールのコート裏の建物。かつては子どものケアセンターだった。台風の被害で壁に穴が開いた。

